



おにぎり通信

2020年1月18日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

昨日1月17日で、阪神大震災から25年になりました。一方で、東京を含む首都圏では、阪神大震災と同じ規模の強さであるM(マグニチュード)7クラスの直下型大地震が起こる確率が、今後30年以内で70%以上とされています。

地震は、地下でもの凄くゆっくり動いている岩盤の「ずれ」により起こります。首都圏の地下には、2つの大きな岩盤が互いに押し合っている境目があり、ここにずれが生じると大きな地震が起こります。

前回、このずれによって発生したのが、阪神大震災より規模の大きいM8クラスの関東大震災です。この規模の地震は、関東では200年に一度ぐらい起こると見られていますが、関東大震災からは100年ほどしか経っていないため、まだ当分は起こらないと考えられています。一方、M8クラスの巨大地震の間には、M7クラスの地震が何度か発生しており、過去の例を踏まえると、今後30年の間で、首都圏直下地震が70%とかなり高い確率で発生する、と計算されているのです。

★1月6日(月)福祉行動報告 どなたもお見えになりませんでした。

次回の福祉行動：1月20日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに来てください。車輪の前に「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい方と「福祉事務所」に同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は、参加される方がご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることで成り立ちます。

もより ふくしじむしょ
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所…中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ かい
千代田区福祉事務所…千代田区九段南1-2-1 3階

とうきょうと しえん
【東京都のホームレス支援】

くに ちょうさ へいせい ねん ろじょうせいかつしゃ ねんれい だい はんぶん
国の調査(平成28年)によると、路上生活者の年齢は、60代が半分
をし、70歳以上が4分の1、50代が2割となっており、高齢化が進
んでいきます。路上生活の期間は、10年以上が4割、5年から10年が
2割を占め、長期化しています。今後の生活については、就職して
アパートで自活したい人が4分の1、何らかの福祉を利用したい人が
4分の1なのに対して、今のままでいいという人が4割います。

こうした じょうきょう ぶ とうきょうと ろじょうせいかつしゃ たい じりつしえん
こうした状況を踏まえ、東京都は、路上生活者に対して、自立支援
センターを核とした就労による自立支援を行うとともに、路上生活が
長期化し、高齢化したホームレスに対して、「支援付地域生活移行事業」
を開始しています。これは、働くことは前提とせず、自立した日常
生活や社会生活への移行を図るものです。この事業では、行政の
支援員が相談を行い、信頼関係を構築したうえで、住む場所を提供し
て、支援員が生活能力の向上や手続きの手助け等の生活支援をして、
必要な福祉サービスへとつなぎます。対象となるのは、「自ら路上
生活から脱却する意思があり基本的日常生活動作(移動・食事・着替
え・排泄・入浴・洗顔・歯磨き等)に問題はないが、高齢・路上生活の
長期化等の理由から居宅生活移行に支援が必要と思われる人」です。

じぎょう ねんご ねんどまつ じりつ いし も すべ
この事業は、4年後の2024年度末までに自立の意思を持つ全てのホ
ームレスが地域生活に移行するという目標の下に実施されています。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入
れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日
のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麹町6-5-1 聖イグナチオ教会

れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようび ごご じ
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)